

管フランジキット

1. 管フランジ取付面は SAE J518  
4ボルト スプリットフランジに準拠します。
2. ポンプには管フランジキットが付属されてお  
せんので、ご使用の際は下記によりご注文  
ください。

F5-10-A-10

管フランジ形式  
A: ネジ込ナ形  
B: 溶接形

回転方向とポート

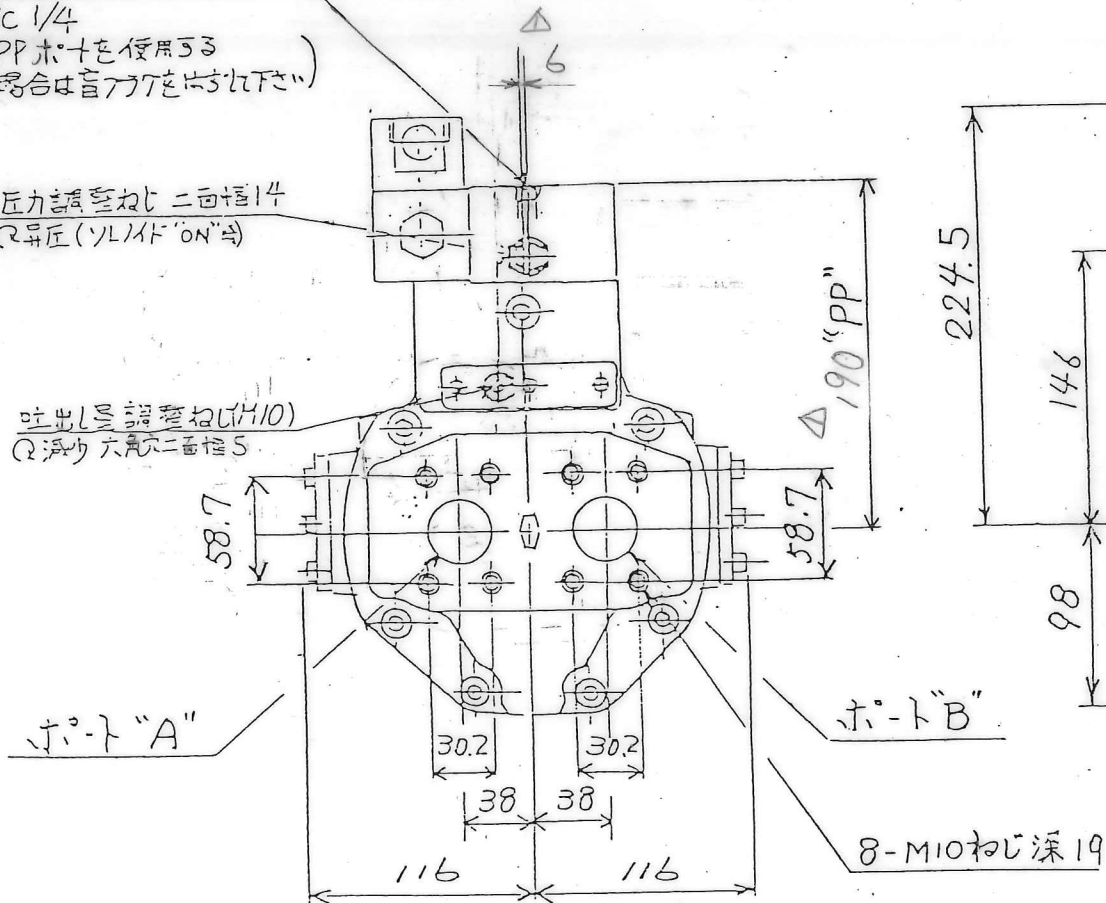
	吸込みポート	吐出しポート
R 回転	"A" (φ35)	"B" (φ32)
L 回転	"B" (φ35)	"A" (φ32)

外部パイロット接続口 "PP"

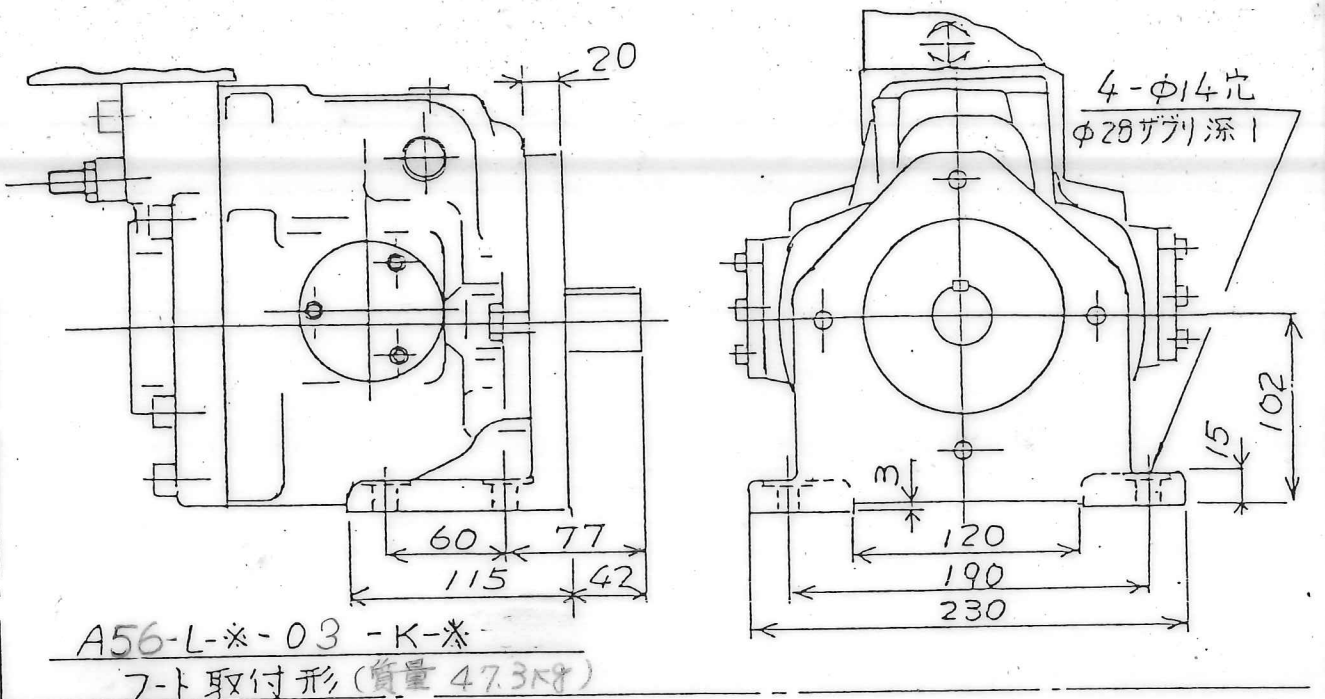
Rc 1/4  
(PPボルトを使用する  
場合は盲フラをはずして下さい)

圧力調整ねじ 二面幅14  
R調整 (ソリッドON等)

吐出量調整ねじ (H10)  
Q減少 六角二面幅5



A56-F-※-03-K-※  
フランジ取付形 (質量 43kg)

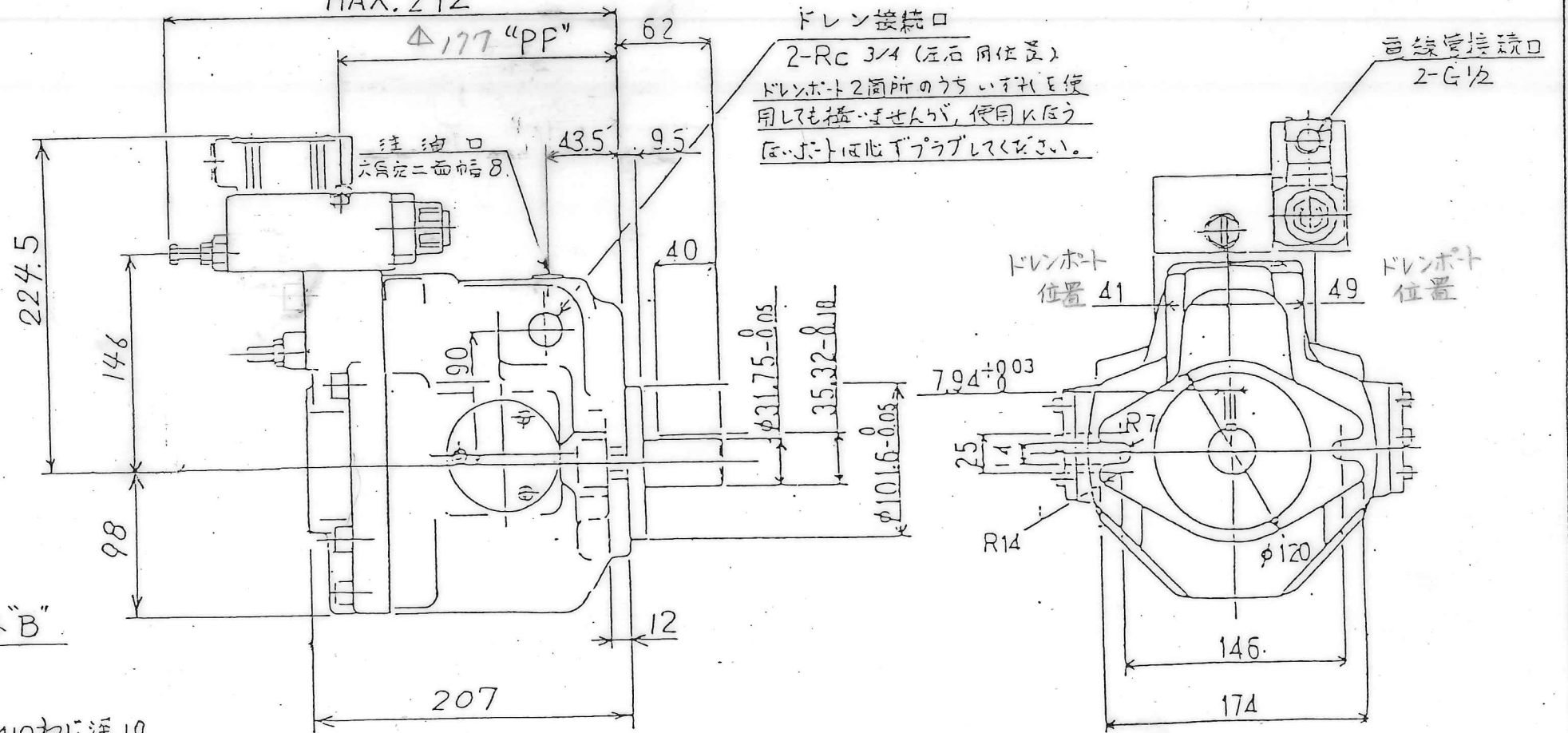


MAX. 292

ドレン接続口

2-Rc 3/4 (左右用仕立て)  
ドレンポート2箇所のうちいずれも使  
用しても構いませんが、使用の際は  
圧力ポートは必ずプラグしてください。

盲線管接続口  
2-G1/2



2 X 5/12 5/12 P03-149 4x3 SYM	日付 DATE	製図 DRAWN	<b>YUKEN KOGYO CO., LTD.</b> 形式 MODEL NO. A56-※-※-03-K-※-32 名称 NAME A56 可変容量形ピストンポンプ アロート付圧力コンパネータ制御 (V3) 図番 DWG NO. PA3112487-2-1
	承認 APPROVED	検図 CHECKD	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		
	FILE NO.	1307C	

管フランジキット

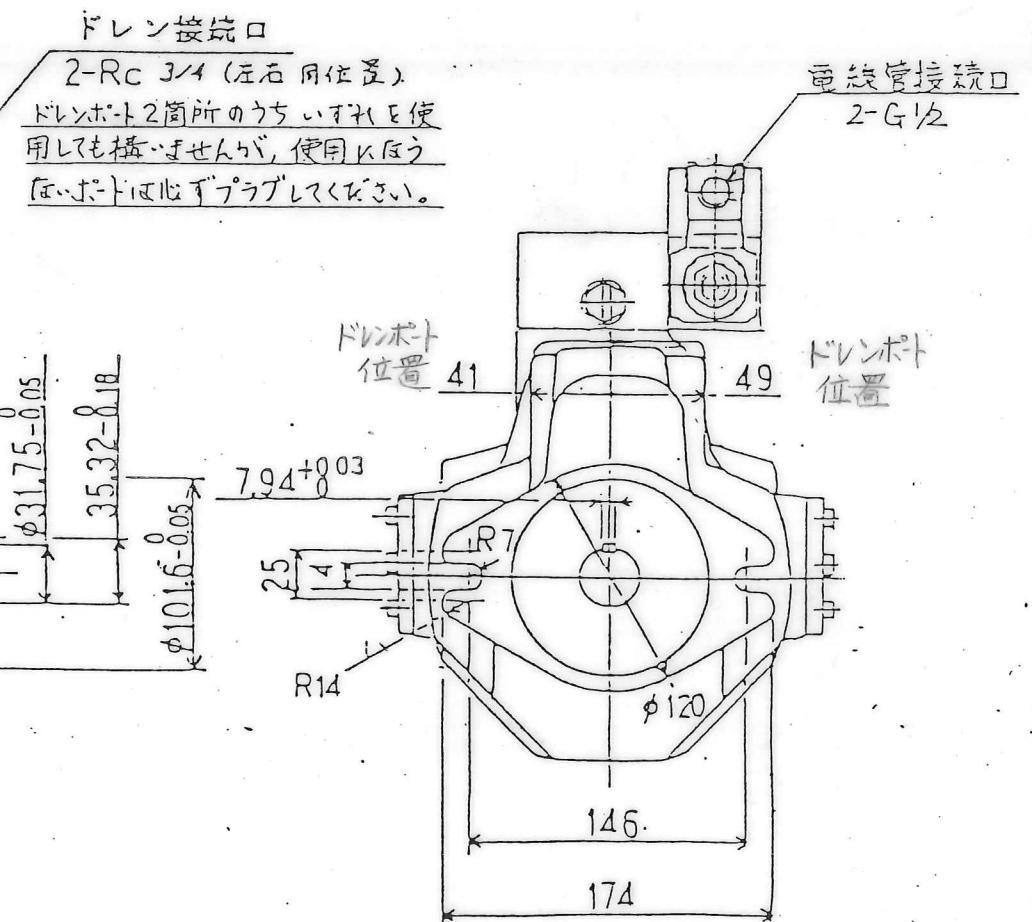
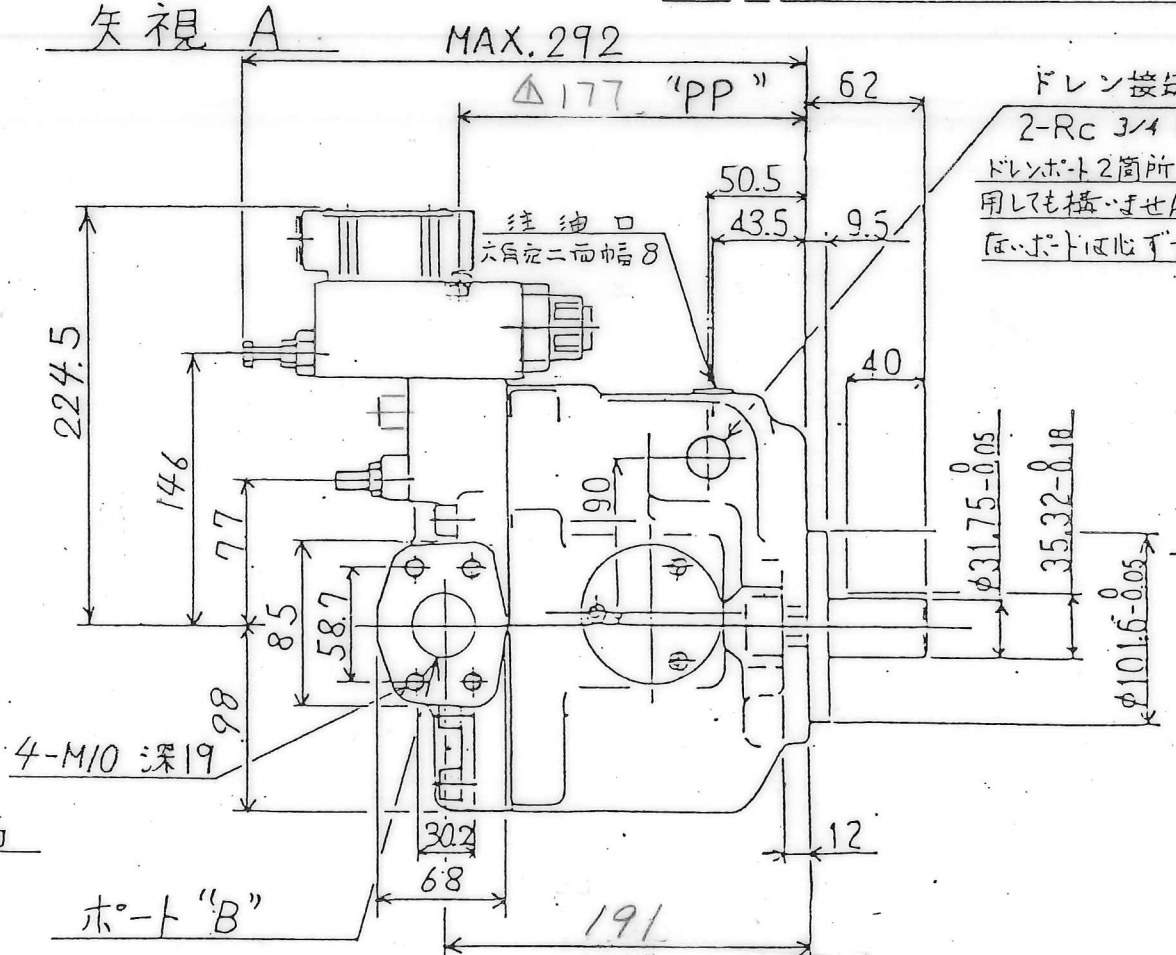
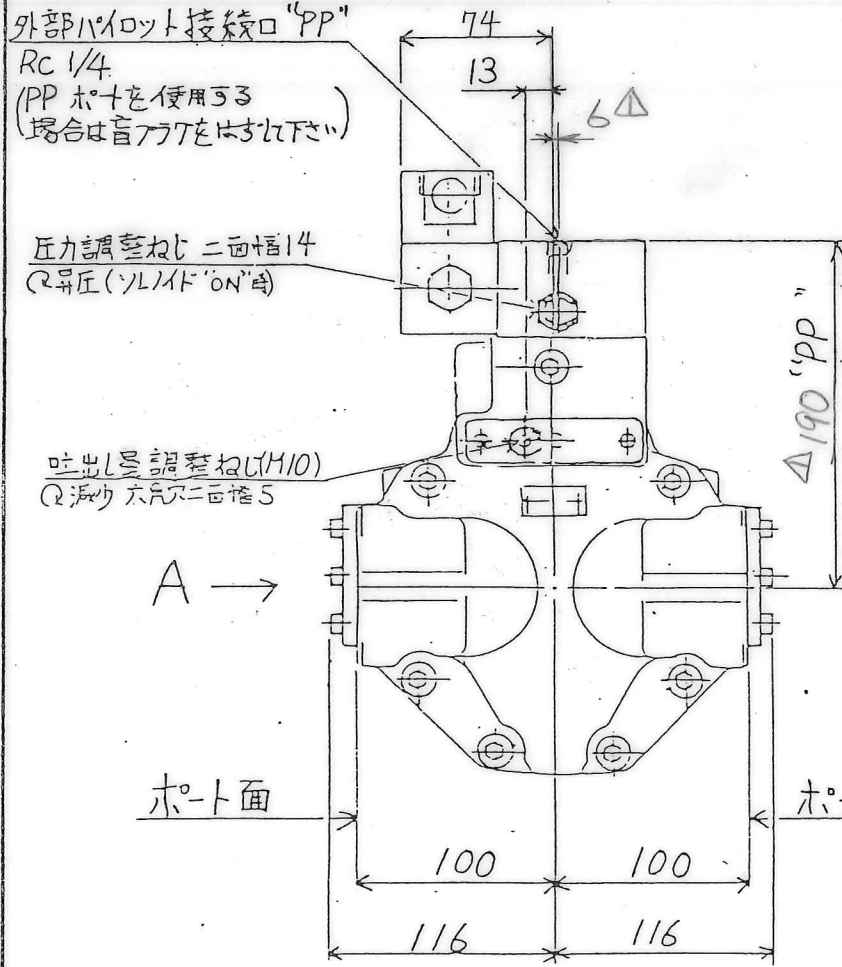
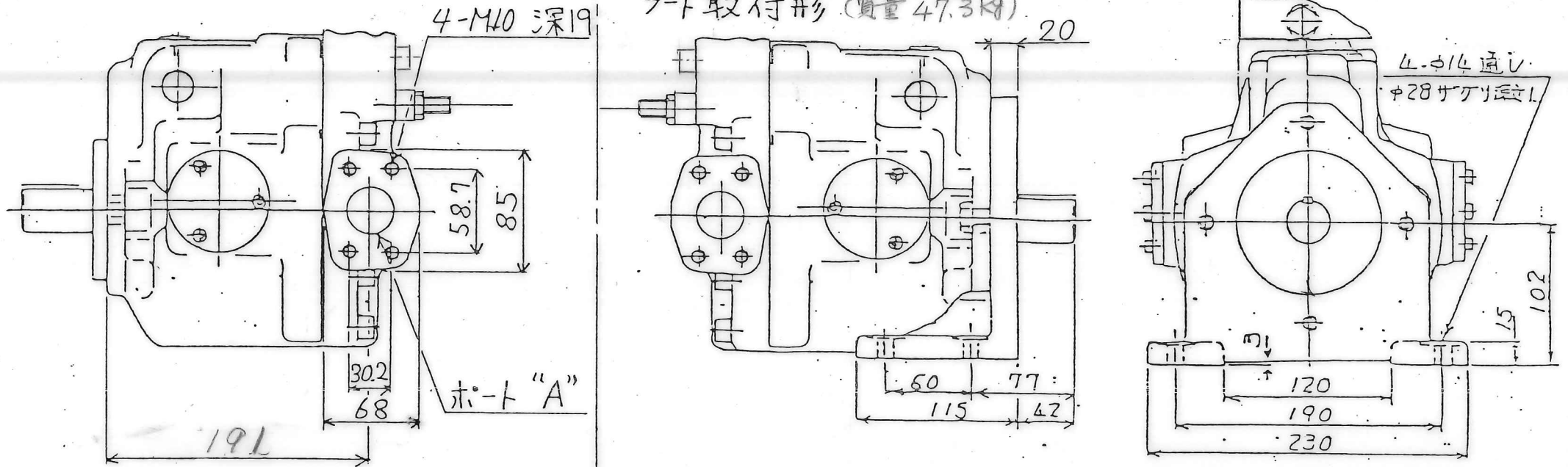
1. 管フランジ取付け面はSAE J 518 4ボルト スプリットフランジに取替えます。
2. ポンプには管フランジキットが付属されておらず、ご使用の際は下記によりご注文ください。

F5-10-A-10  
 管フランジ形式  
 A: ネジ込み形  
 B: 凸台形

回転方向とポート

	口戻込みポート	口出しポート
R 回転	"A" (φ35)	"B" (φ30)
L 回転	"B" (φ35)	"A" (φ30)

A56-L-※-03-S-K-※  
 フット取付形 (質量 47.3kg)



A56-F-※-03-S-K-※  
 フランジ取付形 (質量 43kg)

日付 DATE 承認 APPROVED 承認者 SIGN 承認日 DATE 検図 CHECKED 検図者 SIGN 検図日 DATE 三角法 THIRD ANGLE PROJECTION FILE NO. 1307C	製図 DRAWN 検図 CHECKED	YUKEN KOGYO CO., LTD. 形式 MODEL NO. A56-※-03-S-K-※-32 名称 NAME A56可変容量形ピストンポンプ アンロード付圧力コンペンセータ制御
	図番 DWG NO. PA3112487-2-1	(73)

モデル番号の構成

A56-F-R-03

S-K-A200-32

シリーズ番号  
 取付形式  
 F: フランジ取付形  
 L: フット取付形  
 回転方向  
 R: 軸端から見て時計方向  
 L: 軸端から見て反時計方向  
 制御方式  
 03: アンロード付圧力コンパネ制御

設計番号  
 電磁切換弁  
 コイル記号  
 軸端形状  
 K: 平行ケーシング  
 ポートの向き  
 無印: アクシアルポート  
 S: サイドポート

変速		変速 (変速変換形)		直径	
変速		変速		直径	
A	100	R	100	D	12
A	120	R	110	D	24
A	200	R	200	D	48
A	240	R	220	D	100
				D	110
				D	200
				D	220

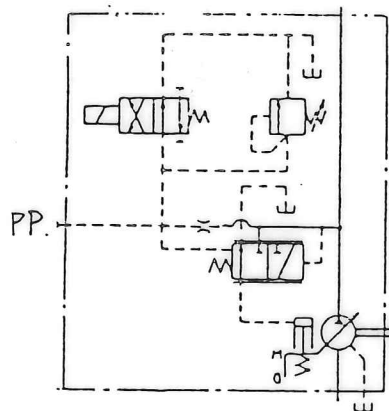
定格

理論押し出し容積	56.2	cm <sup>3</sup> /rev.
最高使用圧力	△ 21	MPa
定格圧力	△ 16	MPa
回転速度範囲	600~1800	r/min.
最低調整圧力	△ 1.2	MPa

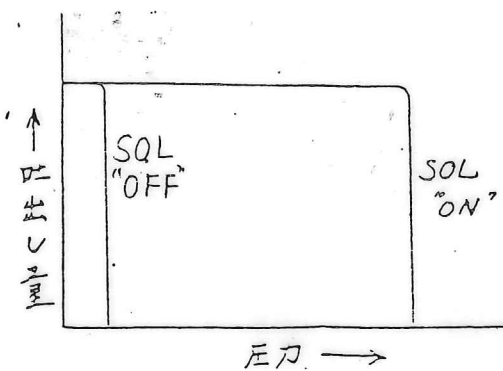
使用油  
 石油系作動油  
 推奨粘度グレード ISO VG 32~46

粘度範囲 20~400 mm<sup>2</sup>/sec

油圧記号

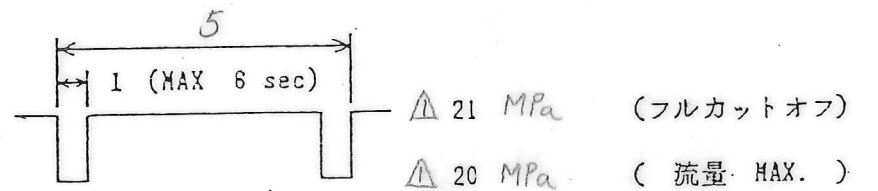


特性



使用上の注意

- ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。) なお、駆動軸とのズレが TIR Δ0.1 mm, 角度誤差 0.2° を越えないようにしてください。
- 吸込み圧力はポンプ入口にて -16.9 ~ +50 kPa Δ にしてください。
- 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
- ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行ない、末端を必ず油中に入れてください。  
 配管継手サイズ R 3/4 (内径 16 以上)  
 配管内径 19 以上  
 配管長さ 1m 以下  
 上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力 Δ0.1 MPa 以下、かつサージ圧力 Δ0.5 MPa 以下になるようにしてください。
- 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度は NAS10 級以内に行なってください。なお、吸込みラインには 100 ミクロン (150 メッシュ) のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには Δ10 ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
- ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
- 初期あるいは長時間運転休止後に運転する場合には、油を吸込みにくいことがありますので、あらかじめ吐出し側に空気抜き弁 (モデル番号: ST1004-5-10) を設けておくか、または吐出し側の接続をやや緩めて空気抜きを行なってください。
- ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。
- 最高圧力はフルカットオフ圧力を示します。定格圧力を越えてご使用の場合は使用条件に制限があります。下図のような条件でご使用の際は最大吐出し運転時間が運転サイクルの 1/5 以内、かつ 6 秒以内になるようにしてください。なお、この条件は使用圧力、吐出し量 (斜板傾き角) 等により異なりますので詳しくは別途お問合せください。



- ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため、吸込み配管およびサクシジョンラインフィルタはポンプのポートより高くしないでください。なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から 1 m 以内に行なってください。

片野	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	APPROVED	CHECKD	
REVISIONS	THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME
SYM	FILE NO.	DWG NO.	(3/3)
12	1307C	PA3	1.2487-2-1